

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SMILE CHARM KURA			
○保護者評価実施期間	R8年 4月 15日		～	R8年 4月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	R8年 4月 15日		～	R8年 4月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりに合わせた個別支援	日常生活の動作を細かくわかりやすく毎回行う。 障がいの特性により個別に対応を変えている。	感覚統合と運動を組み合わせた取り組み。
2	職員間の連携とチーム支援	朝礼や終礼、ケース会議を通じて情報共有を行い、統一した支援を提供している。	研修や事例検討会を充実させ、職員の専門性向上と支援の質の均一化を図る。
3	家庭・関係機関との連携	保護者や相談支援専門員、学校等と定期的に情報交換を行い、連携した支援を行っている。	関係機関との合同ケース会議や地域交流の機会を増やし、切れ目のない支援体制を強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員による支援の質にばらつきがあること	経験年数や専門知識に差があり、支援方法の理解度に個人差があるため。	定期的な研修や事例検討会を実施し、支援の標準化と職員育成を進める。
2	地域との交流機会が十分ではないこと	日々の支援や送迎業務が優先され、地域との連携機会を確保しにくいため。	地域イベントへの参加やボランティア活動などを計画的に取り入れ、交流の機会を増やす。
3	利用者の将来を見据えた自立支援の充実が十分でない	日常支援が中心となり、長期的な視点での目標設定や評価が十分でない場合があるため。	ライフステージを見据えた目標設定や関係機関との連携を強化し、自立に向けた支援を充実させる。